

# あした、輝け!

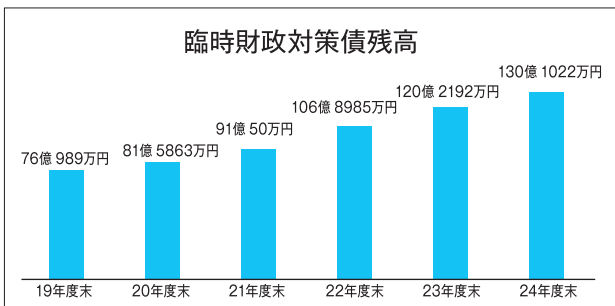
## 3月議会 議案の中から

### 議案第12号 平成24年度鎌ヶ谷市

一般会計総額278億3000万円、特別会計総額197億200万円、合計475億3200万円の使い道を示す平成24年度予算が可決。予算審査特別委員会での質疑や鎌ヶ谷市の財政の現状について報告します。

一般会計	278億 3000万円
特別会計	197億 200万円
国民健康保険	117億 3200万円
公共下水道事業	19億 5900万円
介護保険	52億 3400万円
後期高齢者医療	7億 7700万円
合計	475億 3200万円

## 予算審査特別委員会での質疑 臨時財政対策債について



(23年度末、24年度末は残高見込額)

## 松沢の視点

貴重な財源と同時に債権である。130億円と膨大な臨時財政対策債を返済していくには、地方交付税に頼っているのが実情である。しかし、三位一体改革で交付税が減額された時期もあり、交付税がそのまま増額のペースで推移するとは限らない。時代の変化に左右されない財政運営が求められる

中、臨時財政対策債の発行については満額発行ではなく抑制した発行額にしていくべきと考える。

自治会集会所整備助成事業 3000万円  
地域振興に要する経費 (自治会館改修補助金) 204万円

## Q 鎌ヶ谷市内にある自治会館の現状について

A 現在市内には31の自治会館がある。また、築年数については昭和37年建築が1館、昭和40年代建築が5館、昭和50年代建築が9館、昭和60年代建築のうち、築25年を超えているのは2館、計17館が25年以上経過しており、老朽化が進んでいる状況。

施設は設計や建設の費用だけでなく、定期的な維持管理や解体の費用も想定しなければならない。運営面においてライフサイクルコストを意識した総合的なコスト管理が求められており、解体も含む費用について行政がどこまで支援ができるか検討を始める時期に来ている。

## 道路維持・補修事業

(市道修繕調査委託) 680万円

## Q 空洞があったときに対応すべき修繕と通常の道路修繕との区別について

A 空洞化が発見されるような場所は当然優先的に対応していかなければいけない。ただ、状況を目視した段階で大規模な補修が必要であると思われる路線が市内に相当数あるので、全体の中で空洞化調査を活用しながら優先度を決めていきたい。

昭和 40年代に人口増加とともに整備された道路が多い鎌ヶ谷市では今後も維持補修の増加が見込まれる。優先順位を踏まえた計画的な維持補修の対策を講じていく必要がある。

## 教育指導に要する経費

(学力診断テスト実施委託) 約 132万円

## Q 民間業者の学力診断テストを実施する背景について

A 鎌ヶ谷市では独自の基礎学力状況調査を実施し、一定の成果を上げたと考えている。しかし、鎌ヶ谷市の児童生徒の学力を客観的に分析することは質量とも不足をしていたと認識している。また、平成 21年度の全国学力・学習状況の全校実施、政権交代後の平成 22年度には抽出校実施となってしまう、国の方針が動いても鎌ヶ谷市独自で児童生徒の学力を把握し蓄積し、指導や研修等に生かしていくための調査が必要だと考えた。

学力テストは現状を把握し、学力のデータを教育指導に役立てることが目的であり、民間業者ならではのスピーディーな判定・

分析を学力向上策につなげるべきである。

## 要保護・準要保護に要する経費

小学校 約2020万円  
中学校 約2328万円  
合計 約4348万円

## Q 就学援助の変更点について

A 鎌ヶ谷市は生活保護の認定基準の1.3倍未満の収入額を認定基準とし、近隣市の中で厳しい認定基準だったが、近隣市の均衡と合わせ、1.3倍以上1.5倍未満とし、215万円未満の基準を新たに第2基準として215万円以上248万円未満の収入額の枠を緩和する。

(一例)

家族構成	準要保護Ⅰ段階認定者		準要保護Ⅱ段階認定者	
	持家	借家・賃間	持家	借家・賃間
2人/母/小学生	215万円	308万円	248万円	355万円

※一例です。詳しくは教育委員会 学校教育課学務室までお問い合わせください。

市の財政状況等の差が就学の機会の差、教育の差になってはならない。どこの市にいても同じように教育が受けられる環境をつくる必要があり、今回、認定基準が近隣市並みに緩和することは意義があることであり、より周知を徹底すべきである。



## 松沢たけひと プロフィール

- 昭和50年 鎌ヶ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ヶ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ヶ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成9年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人設立 代表取締役
- 節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ヶ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ヶ谷市議会議員 再選

私、松沢たけひとは36歳と会派政友会の中では最年少ですが、鎌ヶ谷市議会議員の一人として、市民の皆様に信頼され、そして、期待に応えられるように行動してまいります。